

2019年6月27日

各 位

 株式会社新生銀行
 昭和リース株式会社

フィリピンにおけるクレーンレンタル事業の合併会社設立について ～アジアにおける建設機械ビジネスの強化～

新生銀行グループの昭和リース株式会社(東京都文京区、代表取締役社長 清谷 清弘、以下「昭和リース」)は、フィリピン証券取引所に上場する大手財閥ユーチェンコグループの EEI Corporation (フィリピン マニラ、President & CEO Roberto Jose L. Castillo、以下「EEI」)と、株式会社サイガ(大阪府高石市、代表取締役 才賀 紀三郎、以下「サイガ」)の3社で、クレーンレンタル事業を目的とした合併会社を、2019年9月を目途にフィリピンにて設立します。

本件は、フィリピンにおいて多くのインフラ関連プロジェクトを受注する EEI、現地でのオペレーション実績のあるサイガ、日本製中古クレーンとそのファイナンスを提供する昭和リースがお互いの強みを持ち寄り、新たに設立する合併会社を通じて、インフラ需要旺盛なフィリピンにてオペレーター付中古クレーンレンタル事業を開始するものです。

EEIは、フィリピン有数の建設会社で、長年にわたりフィリピンのインフラ開発プロジェクトを数多く手掛けています。今年2月には、日本の支援で整備されるマニラ首都圏地下鉄プロジェクトでフィリピン側唯一の JV パートナーとなるなど、同国のインフラ整備事業において重要な役割を担っています。

サイガは、国内トップクラスの保有総トン数を誇る、関西を拠点とするクレーンレンタル会社です。海外においても、東南アジアを中心に各種プラント工事等、多数のクレーンのオペレーション実績を有しています。

昭和リースは、新生銀行グループの一員としてグループの総合力を活かした多彩な金融ソリューションをお客さまに提供しています。特に、強みである建設機械ビジネスでは、近年複数の M&A を実施し、中古オークション、クレーンレンタル市場に参入してアセットビジネスを強化しており、またメーカー系リース会社を買収するなど営業基盤の拡大を図っています。

この取り組みを通じて昭和リースのアセット事業プラットフォームを拡充するとともに、新生銀行グループが中期経営戦略で掲げる「価値共創による成長追求」に基づき、さまざまな事業者と連携することで、事業パートナー型ビジネスを一層推進していきます。さらに、成長著しいアジア圏での建設機械ビジネスを強化していくことで、フィリピンをはじめとするアジア全体のさらなる経済発展に貢献していきます。

【合併会社の概要】

名 称	未定
所在地(予定)	12 Manggahan St., Bgy. Bagumbayan, Quezon City, Metro Manila 1110, Philippines
代表者(予定)	代表取締役社長 Mr. Leo R. De Castro (EEI シニア・バイス・プレジデント)
設立日(予定)	2019年9月中
事業開始(予定)	2019年10月1日
事業内容	1. 建設機械のレンタル 2. 中古建設機械の売買
資本金	PHP 52,000,000.00
普通株主の状況	EEI Corporation 40% 株式会社サイガ 46% 昭和リース株式会社 14%

■ EEI Corporationの概要

名 称 : EEI Corporation
代 表 者 : Mr. Roberto Jose L. Castillo, President & CEO
設 立 : 1931年4月
所 在 地 : Quezon City Metro Manila, Philippines
事 業 内 容 : フィリピン国内の発電所、精製所、石油化学工場、セメント工場、採鉱施設、学校、病院、
道路、橋、港、空港、鉄道などのインフラ整備事業
資 本 金 : PHP 1,036,401,386

■ サイガの概要

名 称 : 株式会社 サイガ
代 表 者 : 代表取締役 才賀 紀三郎
設 立 : 1969年9月
所 在 地 : 大阪府高石市高砂2丁目5番地
事 業 内 容 : クレーン・リース業、重量物運搬据付業、プラント組立定期補修業、民間車検整備事業
資 本 金 : 4,800万円

以 上

お問い合わせ先:
新生銀行 グループ IR・広報部
幡野、紀、岩佐
Tel. 03-6880-8303